

# ProMED-mail情報 2020年 10月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	ビルハルツ住血吸虫症 ドイツ	ミュンヘン渡航関連サイトは、尿路住血吸虫の感染例を発表。49歳ドイツ人男性は、2020年6月に肉眼的血尿あり、膀胱の生検と尿の顕微鏡検査とPCRにより診断。男性患者は2019年と2013年にフランス領コルシカ島に旅行。2019年にソレンザラ川に入浴し感染した可能性あり。
25日	インフルエンザ ワクチン接種 韓国	10月24日、韓国疾病管理庁によると、インフルエンザワクチン接種後の死亡者が48人確認された。当局はワクチン接種と死亡との関連は非常に低く、無料接種を続ける方針を示した。一部の医師や政治家はキャンペーン中止を求めた。当局は最初の死亡13人のうち2人はアナフィラキシーショックの可能性があると述べた。詳細は公表せず。
22日	ペスト コンゴ民主共和国	6月11日から8月9日までに、イトゥリ地方で死亡17人を含む73人の感染例を報告。同地方では、2020年1月から10月20日までに17人の死亡を含む124人の感染例あり。2019年には、国内全体で8人の死亡を含む48人の腺ペストが報告された。
18日	ジフテリア ベトナム	保健省は2020年1月以降、198例の感染例を報告。うち172例は中部高原地域で、22例は中部州で、4例は南部州で感染。保健省は患者発生した州で予防接種キャンペーンを開始。米国CDCはベトナムへの旅行者へワクチン接種の確認を促した。
16日	日本脳炎 韓国	疾病管理本部は、10月14日、京畿道で確定患者1人(60代女性)と疑い患者2人(70代女性、50代男性)を報告。9月、3人全員が発熱・見当識障害の症状を示した。韓国では患者の大多数は8月から11月に見つかり、過去10年間で217人の感染例、患者の90%以上は40歳以上。
11日	アフラトキシン中毒 中国	10月5日、中国北東部の黒竜江省で9人の家族が、1年間冷凍されトウモロコシを発酵させて作った郷土料理の麺を食べたところ、7人が死亡、2人が入院した。病院の検査で、食品中に高濃度のアフラトキシンが検出され、中毒が示唆された。
11日	未診断の出血熱 スーダン	10月8日、保健省によると、南スーダンの西バハル・エル・ガザル州のラジャ郡で、3人が原因不明の発熱と出血症状で死亡。先週以降、127人の同症状の症例を報告。WHOから6人の医療チームが派遣され調査を開始。
7日	ボツリヌス中毒 イタリア	9月30日、イタリア領シチリア島で30人以上のボツリヌス中毒疑い患者が発生。7人は集中治療室へ、4人は救急治療室に入院。患者らは建設会社の労働者で、社員食堂でマグロ・トマト・モザレラを含むサラダを食べた。
6日	鳥インフルエンザ ロシア、カザフスタン	9月23日から25日に、ロシアのクルガン州、チュメニ州、オムスク州の3州4戸の農場でH5N8が発生し5,222羽の鶏のうち234羽死亡。隣接するカザフスタンでは9月17日から25日に3回のH5が発生し191羽のうち108羽死亡。ヨーロッパ農業当局は渡り鳥によるウイルス拡散のリスクがあるため、家禽農家に警戒を促した。
5日	ウエストナイル熱 カナダ	オンタリオ州南西部にあるラムトン郡公衆衛生局は、2020年にはじめてウイルス検査陽性になった感染例を発表。オンタリオ州では2020年に24人の感染例あり。保健所は住民に蚊に刺されないよう、敷地内の蚊の繁殖地をなくすよう呼びかけている。
4日	手足口病 ベトナム	10月2日、ホーチミン市疾病管理センターは、2020年1月以降、市内の感染者は6,358人と発表。とくに9月下旬に640人報告された。新学期が始まり、各地で流行の可能性あり。
4日	鳥インフルエンザH9N2 中国	中国当局は、広東省の4歳女児の感染例を報告。8月に軽度の症状で入院し完治、家禽との接触歴あり。中国では2020年、6例のH9N2感染例あり。